

総会表決ありがとうございました

1. 総会議事録（署名人署名つき）コピーをお送りします

2. 監事の公認会計士・埴先生の呼びかけを同封します。
ご友人への呼びかけをお願い致します。

《C. P. I. への寄付金に係わる税制》が改正されました！

C.P.I.は、認定法人ですので、ご寄付がもっと活かされます

- ① 寄付額から 2,000 円差引いた額の 50%が、所得税および住民税から戻ってきます。
 - ・ 所得税から 40% が税金から控除できます。
 - ・ 住民税から 10%（ただし、自治体が条例を定めた場合）が控除できます。
- ② ①の場合、上限があります。控除額は、所得税額の 25%が限度です。
- ③ 従来どおりに、所得控除の方法を選択することもできます。
- ④ 所得税の確定申告のとき、C. P. I. からの寄付証明をお持ちください。
- ⑤ この改正は今年の 1 月 1 日にさかのぼって適用されます。
- ⑥ また、遺言で遺産の寄付を指定されますと、相続資産を減らすこともできます。

C. P. I. 本部事務局への電話は、次の番号にお願いします。
無料になります。

050-5534-9384

《告知板》ご存知ですか？ <http://www.cpi-mate.gr.jp>

☆☆☆C.P.I.ホームページになるべく頻繁にご訪問下さい。

YAHOO, GOOGLE, GOO などから、『CPI 教育里親』で検索して載くこともできます。

トップページにある“ボタン”をクリックしてください。盛りだくさんの情報があります。

- C.P.I.への『ご質問』に答えるページにリンクします。
- 『新聞記事で見る C.P.I.の活動』にリンクします。
- 下の段の地図をクリックすると、現地報告のバックナンバーがあります。
- 『国際協力応援団』バナーからは、VTR をみることもできます。



国税庁認定 特定非営利活動法人

C.P.I.教育文化交流推進委員会

1810005 東京都三鷹市中原 2-16-9 TEL& FAX:0422-49-3808

E-mail:cpimate@gmail.com URL <http://www.cpi-mate.gr.jp>

The Committee for Promotion to Innovate Japanese People by Educational and Cultural Contact, since 1979

総 会 報 告

2011 年度（平成 23 年度）



平成 23 年 6 月 18 日

於：国立オリンピック記念青少年総合センター

国税庁認定 NPO 法人

C. P. I. 教育文化交流推進委員会

平成 23 年度総会議事録

日 時 平成 23 年 6 月 18 日 (土曜日) 14:15～17:20

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター スポーツ棟 第一研修室

1. 議長選出 会長小西菊文を指名

2. 議事録署名人 石川睦生氏、佐竹芳郎氏を選出

3. 定足数 定款第 33 条第 4 項に基づく正会員数 709 名、

同第 35 条に基づく定足数に対して、会場出席者 16 名、書面表決出席者 306 名、

合計 322 名の出席があり、以って総会は成立したとの宣言が行われた。

4. 議案書修正 以下の各議案説明の中で、会長より議案書の字句の修正と確認が行われた。

1) 事業報告書 P6 (詳細資料のうち教育里親制度プログラム) の(1)スリランカ協力団体 SNECC との協働 及び (2)インドネシア協力団体 PPKIJ との協働においてそれぞれ教育支援の明細がく教育支援金の当期計画と実績内容とある箇所に於いて、

く教育支援金の前期―当期の実績比較ととの訂正があった。

2) 事業計画書 P3 (詳細資料 教育里親制度プログラム) の②インドネシア PPKIJ と協働した教育支援のうち 2010 年度実績の数字のデータ転写ミスにつき、

く中学生学費 346、高校生学費 2518、中学生試験費 48 とある箇所に於いて、

く中学生学費 323、高校生学費 2492、中学生試験費 97 との訂正があった。

3) 第 5 号議案は、改選役員名簿の表をもって議事にかける旨が確認された。

5. 会長から、事前の評議員会建議が行われた旨の報告が行われ、会務執行においてこれを尊重する旨が報告された。なお、同建議文言は次のとおりである。

① 会員を増やすため、機関紙のおよびホームページの内容について周知を図り、地域会員の交流を図るよう会をあげて努力をすべきであり、執行部にはそのための施策を望みたい。

② 教育支援プログラムに関わる地域あるいは選考対象の学生に関して会員が新鮮な気持で取り組めるよう、執行部には斬新な施策を望みたい。

6. 議案審議および採決

第一号議案 平成 22 年度事業報告: 資料「平成 22 年度事業報告書」

第二号議案 平成 22 年度決算報告: 資料「平成 22 年度決算報告書」

「平成 22 年度一般会計予算執行状況表」

会長より事業報告が概要次のように行われた。

冒頭の基調挨拶では、「C.P.I.は、支援対象とするスリランカ・インドネシア両国において、私たちが推進し目指してきた、『ひとりひとりが人々を想い、人々がひとりを助ける社会づくり』に関連するプロジェクトだけを、手掛けている。これは、会の主軸の活動である教育里親制度プログラムと大いに係わりをもち、C.P.I.の目的に合致するものである。私たちは、一人ひとりの立場で、困窮してはいるが頑張っている子どもたちを助

ける活動を続けることが東北の被災のあと復興に励んでおられる方々との、連帯になるのだと、改めて決意をしたい」と、平成 23 年 3 月 11 日の東北を中心とする災害後の会運営の方針説明があった。

そして、平成 22 年度に行なった、教育里親制度プログラム、シンポジウム『これからの助けあい社会』および教育里子交流会の開催、貧困な人々の自立を教育開発により助ける活動、教育里子たちとの交流活動、以上平成 22 年度の活動について、詳細な説明が行われた。
なかでも教育里親制度プログラムに関してとくに強調されたのは、平成 22 年度から教育里親からの教育支援金の使途全額が奨学生への直接支援費となったことであった。
スリシカ協力団体 SNECC の調査費等負担が C.P.I. に関わらなくなっていた。インドネシア協力団体 PPKIJ の調査費等負担も、C.P.I. の現地定期預金運用財産で賄えた、との説明であった。

引き続き、久保田監事により監査報告、加藤会計委員長より決算報告が財務諸表に基づき行われた。
加藤会計委員長からは、決算報告に付随して 2010 年度の一般会計に係わる予算/実績状況表による説明、その表の注記による収入と使途のバランスに係わる説明も行われた。

以上、一連の説明の後の質疑応答の時間には別段の質問なく、第一号議案および第二号議案に対する採決が行われた。

【採決】第一号議案は、承認 320 票(うち書面表決 305)、否認 2 票で、承認された。

第二号議案は、承認 321 票(うち書面表決 306)、否認 1 票で、承認された。

15 分の休息の後、直ちに次の議案審議に入った。

第三号議案 事業計画案審議:資料「平成 23 年度事業計画」(案)中、事業計画案

第四号議案 事業予算案審議:資料「平成 23 年度事業計画」(案)中、事業予算案

会長より平成 21 年度事業計画案および事業予算案の説明が行われた。計画案の中でとくに強調されたのは、教育里親制度プログラムにおいて、会員が新鮮な気持ちで取り組める教育支援の新機軸を図りつつ、教育里子卒業者の期待に応えられるプロジェクト構築を行うことが、本会の維持発展のために大切との観点であった。

質疑応答

Q1) 教育支援収入予算について、全体で正会員数 5% 増は有為なのか？

東日本大震災・津波などの影響を考えるべきではないか？

A1) 当会の震災で亡くなられた方々へのお悔やみのお気持ちと復興にかける人々との連帯の決意は、すでに WEB でも発表しており、事業報告でも述べたとおりだ。

世界中からの日本への支援は、これまでの日本人の行なってきた国際協力による響き合いだと思う。我々は、いまこそ、世界の困窮している人々との連帯を前進させるべきである。それは、必ず日本の将来につながるからだ。

会員数のことは、いかに外の皆さんと話していけるかにかかっている。

執行部としては、役員が一人ひとり頑張り、WEB からの入会確率を高めるよう努力したい。会員各位にも、会報や WEB ページの周知をお願いしたいと思う。

Q2) 現地ではインフレが進んでいる。

現状の教育支援金で大丈夫なのか？

A2) 教育費の高騰が確かに問題だ。

スリランカでは、進学に必要な塾の費用が二倍になっている。

インドネシアでも、学校の授業料が二倍になった。

両国とも、教育里子数と教育里親数を揃えることで、解決する構えだ。

ただ、地方で教育里子の面倒をみている地方リーダーのことを考えると、

一定数の教育里子の確保が必要である。

従って、教育里親数を落とさないことが肝心になる。減らしてはいけない。

このことは、C.P.I.のすべての会員が考えて戴かなくてはならない。

Q3) 為替レートの影響はどうなっているか？

A3) 過去、円高が現地インフレを超えていた時期があり、現地団体はそれに乗じて奨学生をこちらの要請を超えて選考していたことがある。

しかし、いまや現地インフレは、円高の効果を飲み込んで進んでいる。

いまは円高が維持されているが、円安に転じたときに備えなければならぬ。

以上の質疑応答および会長コメントを経て、第三号議案および第四号議案に対する一括採決が行われた。

【採決】第三号・第四号議案は、承認 320 票 (うち書面表決 305)、否認 2 票 で承認された。

第五号議案 役員改選

会長から、改選役員の候補につき、候補者は平成 23 年 5 月 14 日の理事会で推薦され全員の就任承諾を得て本議事に付された方々であるとの説明があり、名簿の発表が次のとおり行われた。

理事候補者 (担当別・敬称略)

小西菊文	東京	重任候補 (現; 会長・創立者))	C.P.I. 教育文化交流推進委員会 専務者
横濱英紀	神奈川県	重任候補 (現; 副会長)	あすか会計事務所 所長 (税理士)
山川洋一	東京	重任候補 (現; 事務局長)	(有)YKYコーポレーション 役員
大山利雄	東京	重任候補 (現; 総務担当)	元・野村総合研究所 専務取締役
加藤凱信	東京	重任候補 (現; 会計委員長)	㈱UMNフアーマ 監査役
宮原克平	埼玉	重任候補 (現; 地域担当)	(有)アーバン 社長 (一級建築士)
牟田慎一郎	福岡	重任候補 (現; 交流担当)	創造性開発研究所 所長
天沼光太郎	神奈川県	重任候補 (現; 交流担当)	株式会社山武 社員
高嶋 恵子	千葉	重任候補 (現; 交流担当)	高嶋精工 (有) 社長

監事候補者 (敬称略)

堀 善光	千葉	重任候補(現,監事)	堀公認会計事務所 所長
久保田 秀雄	神奈川	重任候補(現,監事)	久保田会計事務所 所長

質疑応答

- Q4) C.P.I. 役員は男性が主力で、女性役員を増やすべきではないか。
 A4) 理事候補について申し上げますと、具体的な活動協力を経てお願いしている。女性の正会員には、ぜひ本部活動にも参画をお願いしたい。スリランカでもインドネシアでも、ジェンダーに関わる活動をしてきている。インドネシアの母子家庭支援は、始まったばかりだ。こういうことに関わるには、相手側も女性団体であるから、女性のかたの参画は望まれるところだ。活動を共にするなから役員となって戴きたいと考える。

以上の質疑応答および会長コメントを経て、第五号議案に対する採決が行われた。

【採決】第五号議案は、承認 322 票(うち書面表決 307)、否認 0 票 で承認された。

17:20 議長は、議案の審議および採決を完了したことを宣言し、閉会した。

以上の記載に間違いがないことを証します

平成 23 年(2011 年)6 月 18 日

議長 長 小西 菊文



議事録署名人 石川 睦生



議事録署名人 佐竹 芳郎



